

米海軍ヘリコプターの不時着に対する要請結果について

平成 25 年 12 月 16 日、三浦市三崎に厚木基地を拠点とする第 5 空母航空団所属の MH-60S ヘリコプターが不時着しました。

このことについて、県と基地に関係する 9 市で組織する「神奈川県基地関係県市連絡協議会」（会長：神奈川県知事 黒岩祐治）は、当該事故の発生に対し、早急な原因究明、徹底した安全管理と再発防止に努めるよう、本日、別添のとおり米軍及び国に要請を行いましたので、お知らせします。

- 要請内容 別添のとおり
- 要請先及び要請に対する反応

在日米海軍司令部（対応者：外務渉外官ゲッチマン中佐）

- ・この件において、日本の皆様にご迷惑をおかけしたことを、極めて遺憾なことで受け止めている。
- ・海軍にとって、運用の安全が一番であることを再度強調し、本件の徹底的な調査、原因究明を行う。調査の中で、安全のための手順も見直す。
- ・三浦市消防本部、日ごろから連携する日本政府関係者の皆様のご支援、ご協力には大変感謝している。

在日米海軍厚木航空施設（対応者：クンツ広報部長）

- ・原因究明については、既に開始している。
- ・公共の安全と乗組員の安全の確保は何よりも大切であると認識しており、今回の要請を重く受止めて、徹底的に調査を行っていく。
- ・市民の皆様がこのような事故で不安を与えたことは大変残念である。
- ・安全が第一であり原因究明の調査は綿密に徹底して行う。完璧な調査は時間がかかるが手続きに基づき報告する。引き続き安全管理を徹底して行っていく。

外務省（対応者：北米局日米地位協定室 林首席事務官）

- ・外務省として昨日、北米局長が駐日米国大使館首席公使に遺憾の意を伝え、原因究明と再発防止に努めるよう要請した。
- ・政府として引き続き、しっかりとフォローしたい。事故原因等の情報は共有していく。

防衛省（対応者：南関東防衛局 千葉管理部次長）

- ・周辺住民に被害はなかったものの三浦市及び基地周辺の住民に多大な不安を与えたことについて誠に遺憾である。
- ・原因究明と再発防止策などについて、米軍に申し入れた。
- ・航空機の運用については、最大限、地元で配慮するよう求めるとともに、引き続き情報提供をするよう働きかけていく。
- ・適時、適切に情報提供に努めていく。

（「神奈川県基地関係県市連絡協議会」構成県市）

神奈川県、横浜市、相模原市、横須賀市、藤沢市、逗子市、大和市、海老名市、座間市及び綾瀬市

（問い合わせ先）

神奈川県政策局基地対策部基地対策課

課長 井上 電話 045-210-3370

副課長 兄内 電話 045-210-3371